

授業科目名: 造形表現特殊演習(グラフィック) 【15405ゼミ室】	担当教員: 富山祥瑞 (九産大 非常勤/愛知教育大学 名誉教授)	
集中授業/演習(2単位)		
授業の目的及び到達目標 目的 <small>goal</small> 自分たちでテーマを設定し、調理していく「情報編集力」を、雑誌づくりを通じて学びます。 目標 <small>objective</small> 実際に雑誌を発行し、編集テーマが一つの「出版物」に仕上がっていく過程を実践。 また、雑誌出版の基礎的な歴史と、メディアリテラシー(情報を読み解く力)の萌芽も目指します。		
授業の概要 1) 当授業での雑誌づくりは、出版社に見立てた グループ主体 の活動となります。 2) 出版の技術 (市場観察 → テーマ設定 → 取材・原稿執筆・原稿整理), 視覚伝達デザイン (誌面の表情づくりや印刷設計)についての講義と一連の演習で構成。 3) 全ての講義終了後、一定の期間を要しますが、実際に オンデマンド印刷 として雑誌を発行します。		
授業計画 ↑ # 1) ガイダンス —— 教員が指導・出版してきた歴代の雑誌(2005~2022年)を紹介 # 2) 講義 —— 頁もの印刷物の設計(頁建て → thumb nail → comprehensive), 印刷の種類 # 3) 講義&グループ活動 —— 紙の規格(A判・B判・四六判・菊判・ $\sqrt{2}$ 矩形), 雑誌創刊会議 【1クール】 # 4) 講義 —— 割付には目に見えない線がある] …… グリッドシステム, 版面率 # 5) 講義&グループ活動 —— 割付の抛り所/フォーマットをつくる # 6) 講義&グループ活動 —— カンプ(=高度なニセモノ)づくり …… 誌面の表情づくり # 7) 講義&グループ活動 —— PCによるデータ作成(グラフィック編)/カメラの種類/著作権 ----- # 8) 講義 —— 宿題の確認, 用字・用語と原稿整理 # 9) 講義&グループ活動 —— 頁もの印刷物のデータ整備 【2クール】 # 10) 講義&グループ活動 —— 頁もの印刷物の入稿への留意点(1) # 11) グループ活動 —— 頁もの印刷物の入稿への留意点(2) ----- # 12) 出版に向けての最終課題(=印刷データ精緻化)への解説 【3クール】 # 13) 講義 —— 雑誌の歴史・時代背景 …… 封印されてきた戦中雑誌『NIPPON』復刻版の鑑賞など # 14) 総集編 —— 今後のスケジュール解説など ↓		
使用テキスト・準備するもの 1) 各单元ごとに作成したプリントを対面で配ります。 2) PCソフトとして「Illustrator」「Photoshop」、またデジタルカメラ(スマホ不可)が必要です。 3) 雑誌のオンデマンド印刷・製本費用として(3千円~4千円程度/一人)が必要となります。		
授業時間外学修について 1) 【1クール】を終え、【2クール】開始迄の間は、宿題での制作が必要になります。 2) 【2クール】を終えて以降の印刷データの完成が最終宿題となります。		
学生に対する評価 1) 中間宿題(【1クール】終了後)の成果 2) 印刷データ作成(【3クール】)の完成度 ※ペーパー試験は実施しません		